

GELCHOPの



VOL. 046

レツツD.I.Y.

月イチでD.I.Y.なものづくり。

転ばぬ先の杖、
濡れぬ先の傘。

Product_name

Bump Helmet & Swell Glove

Material

- ・ヘルメット 1個
- ・軍手 1個
- ・発泡スチロール 適量
- ・石膏 適量
- ・FRPセット 適量
- ・ポリバテ 適量
- ・カラースプレー 適量
- ・包帯、包帯留め 適量

How to make

- 1 まずは、頭にコブを作るシチュエーションをイメージする。今回は、ドジを踏み“バッキヤロ～め”と親方に叱られゲンコツを頂くイメージでコブのデザインを決定。
- 2 いい感じのタンコブを発泡スチロールの塊から削り出す。カッターや包丁であらかた削り出したらサンドペーパーなどでカタチを整える。
- 3 スチロール原型ができたら型取りをしよう。ヘルメットに取り付ける面を残し石膏をかけていく。厚さ10mm程度。
- 4 石膏型ができたら中のスチロールを掻き出す。シンナーを垂らすと溶けるので簡単に摘出可能。中が空洞の雕型が完成。

5 石膏雕型にFRPを成型する。石膏の水分で樹脂表面の肌が荒れるのでラッカーサーフェーサーを型面に塗っておくと若干効果あり。樹脂は1層目の薄皮を型に塗り、固まってからグラスファイバーで強度をつけていく。

6 樹脂が固まったら、石膏を割りFRPの成型品を脱型する。サンドペーパーで形状を整え、表面を綺麗に磨き上げていく。ヘルメットとの設置面のアールもピッタリ合うように調整しておくこと。

7 ヘルメット内側からタンコブに向けてビス打ち固定ができるように、タンコブの空洞内部に木材を入れ、樹脂やボンドで固定する。

8 タンコブをベストな位置にあてがい、ヘルメットに下穴を開け、ビスとボンドで固定。ヘルメットとコブの境界線が美しくなるようにポリバテを使い整えていく。

9 作業も大詰め、タンコブの付いたヘルメットを塗装する。サンドペーパーで足付けし油分も除去、下地サーフェーサーを塗り、カラースプレーで綺麗に仕上げの塗装をしよう。軍手の人さし指も制作方法は同じ。指に入る空洞をつくり、ボンドで軍手に固定して、包帯で体裁よく整える。

10 最後に安全第一の緑十字シールを貼って完成。あとは、現場に行き親方に叱られるのを待つだけ。



6.石膏から樹脂を取り出す。



9.ヘルメットの色とまったく同じ色にするように心がけるべし。

はみだしのDIY

こんな私にもお試験の経験がある。あまり似つかわしくないのになぜだか美大に行きたないと思ってしまったのだから大変だった。芸術の学校に入るのになんで学力が試されるのか? そんなことに疑問を抱く時点でもう脱落していた。絵の実力もとりわけたいしたものではなく、浪人しているにもかからず、夏まではバイトに勤しみ、放浪じみた旅に出る。揚げ句の果てには絵の実力では合格できないと思い、試験中に周囲を驚かす道具を作り始めた。例えば画面から離れて遠い所からデッサンできる“ロングペンシル”や、鉛筆を大量に束ね一撃に広い面積を塗り溝ることができる“ファットペン”、指さし棒の手を消しゴムで彫刻したモノにすり替えた“指消し”などなど様々な道具は考案したものの試験本番に使用する勇気はなし。まぁ使用したって合格するはずもない無駄な努力。まさにはみだしのDIY。

ゲルチョップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリョウタ、オザワテツヤ、タカハシリヨウヘイがメンバー。長年モノを作っていると、失敗とケガの数ぐらいは減らすことができるものだと、誇らしく思える今日この頃。



パンプ・ヘルメット&スウェル・グローブ 今はものづくりの現場で我が身を守る、ヘルメットと軍手にちょっとだけイタズラを。守る……サッカーで言えばディフェンダー、車で言えばパンパー、夫婦で言えば真操帶、剣道で言えば小手面胴、人間関係にはスマイルを、アメリカではピストル? 虫よけにはキンチャヨル、雨が降ったら傘、傘がなければ歌ができる。ヘルメットがなければコブができる。でなんでタンコブヘルメットかって……それは色々想像して楽しんでいただくとして、すっかり忘れていた軍手は、ハンマーで打ち損じて指を叩いてもいいように、腫れた指がプロテクターになってます。何はともあれケガには十分ご注意を!